

I D : @PATIENTID @USERSECTION

氏名 : @PATIENTNAME

生年月日 : @PATIENTBIRTH2

性別 : @PATIENTSEXX

綾部市立病院 化学療法  
標準プロトコール／治療計画書 [No.M049]  
当レジメンの2022年度実施状況: 0件

## 乳腺 EXE + EVE

### <対象>

- 手術不能又は再発乳癌
- ・NSAI(非ステロイド性アロマターゼ阻害剤)による治療歴のない患者に対する本剤の有効性及び安全性は確立していない。
- ・臨床試験に組み入れられた患者のホルモン受容体及びHER2の発現状況等(BOLLERO-2試験:ER陽性かつHER2陰性でレトロゾール又はアナストロゾールに抵抗性の局所進行性又は転移性の閉経後乳癌患者を対象)について、本剤の有効性及び安全性を十分に理解した上で、適応患者の選択を行うこと。

day1	day8	day15	day22
1	2	3	4週

exemestane

everolimus

### <患者情報>

身長 \$HEIGHT0 cm 体重 \$WHEIGHT kg 体表面積 \$身体情報 m<sup>2</sup>  
(DuBois式)

### <使用薬剤・投与量>

exemestane 1回25mgを1日1回食後に投与

everolimus 1回10mgを1日1回投与  
(アフィニートル)

間質性肺疾患に対する減量、休薬及び中止基準

grade(症状)	投与の可否等
grade1 (無症候性の画像所見)	投与継続
grade2 (症候性:日常生活に支障なし)	症状が改善するまで休薬すること。 投与を再開する場合は半量の投与とする。
grade3 (症候性:日常生活に支障あり、 酸素療法を要する)	本剤の投与を中止し、原則として再開しないこと。ただし、症状が改善し、かつ治療上の有益性が危険性を上回ると判断された場合のみ、半量の投与で再開可能とする。
grade4 (生命を脅かす:人工呼吸を要する)	投与中止

### <治療計画>

手術不能再発

開始 年 月 日 ~ 治療に対して不応または不耐まで

主治医

指導医

主治医の先生へ) 治療開始時に患者情報・治療計画を記入し、薬剤部まで提出してください。